令和７年９月６日

保護者　様

行方市立北浦小学校長　石川　夕香里

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の対応について（お知らせ）

初秋の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動への深いご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、標記の件について、下記のとおりお知らせいたします。調査結果は学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面となりますが、本調査の目的を踏まえ、成果と課題を検証し、改善に向けて対応策を講じてまいります。

つきましては、お子様の健やかな成長のためにご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

記

１　本調査の目的

◇　義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る

◇　学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

◇　そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

２　本校の成果（○）と課題（●）

○　国語科の「自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えること」及び「書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること」は、相当数の児童が身に付いていました。

○　算数科の「簡単な二次元の表から、条件に合った項目を選ぶこと」及び「異分母の分数の加法の計算をすること」は、相当数の児童が身に付いていました。

●　国語科の「事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること」及び「目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けること」には課題が見られました。

●　算数科の「分数の加法について、共通する単位分数を見いだし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述できるか」及び「台形の意味や性質について理解しているか」「伴って変わる二つの数量の関係に着目し、問題を解決するために必要な数量を見いだし、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述できるか」には課題が見られました。

３　今後の対応

⑴　課題となった設問については、本調査実施後に自校分析を行い指導していきます。

⑵　国語科においては、文章を読んで、その内容を要約する活動を充実させます。また、複数の資料から必要な情報を見つけ、それらを関連付けて考え、表現する活動を充実させます。

⑶　算数科においては、「基本的な計算の手順を説明すること」や「用語の意味の正しい理解」を定着させ、「理由や根拠を明確にして説明する」活動の充実を図ります。

⑷　４～６年生の基礎的・基本的な学力の定着を目指し、本校の課題に対応するため、全職員で指導に当たる「学びの時間」を活用します。実施する期日については、月予定表でお知らせいたします。

４　保護者の皆様へのお願い

児童質問紙の「朝食を毎日食べていますか」の質問において、朝食を食べない児童が全国平均に比べて多いことが分かりました。お子様が生活習慣を身に付け、学校において集中して授業に臨むために、毎日朝食を食べて登校できますようお願いいたします。

本市では、まなびポケットやｅライブラリーを家庭学習で活用することができます。利用履歴及び成果等は、お子様のタブレットで確認することができます。今後、活用の促進を図っていきますので、保護者の皆様におかれましても励ましのお声かけをいただき、お子様の取組を褒めてあげてください。

【問合せ先】
行方市立北浦小学校
教務主任　髙﨑　裕之
電話０２９１－３７－６６３６